平成27年度自然災害科学中部地区研究集会プログラム
会場:静岡県地震防災センター

【第1セッション】司会:原田賢治(静岡大学)

時刻	演題	著者	ページ
9:30 ～ 9:45	富士川河口断層帯浅層高分解能パラレルライン反射法地震探査(2014年度熊手作戦)の結果概要	○狩野謙一(静岡大)・伊藤谷生(平成帝京大)・渡辺俊樹(東京大)・小田原啓(神奈川県)ほか	2
9:45 ～ 10:00	津市におけるため池の現状と安全性に関する研究 −陸の津波に備える−	○林光男・平林典久・川口淳（三重大）	4
10:00 ～ 10:15	掛川市が目指す海岸防災林強化事業における整備条件の検討について	○村上将士（掛川市），原田賢治（静岡大）	6
10:15 ～ 10:30	藤枝市の避難地・防災拠点の特徴	○小椋明（ふじのくに防災フェロー養成講座受講生）	8
10:30 ～ 10:45	私たちはなぜ2014年御嶽山噴火で63人を失ったか？	○木股文昭(東濃地震研)	10
10:45 ～ 11:00	＜休憩＞		
11:00 ～ 11:15	1951～2014年の台風の強さと死者・行方不明者の関係	○津島俊介（水戸地方気象台），牛山素行（静岡大）	12
11:15 ～ 11:30	沼津市における東日本大震災前後の人口変化	○諸星大輔（沼津市），杉村晃一（静岡市），牛山素行（静岡大）	36
11:30 ～ 11:45	登録型防災メールの活用状況に関する調査	○蓑田健一(株式会社SBS情報システム)，牛山素行(静岡大)	16
11:45 ～ 12:00	県域FM局における災害時の放送内容に関する事例調査	○日下純（静岡エフエム放送），牛山素行（静岡大）	18
12:00 ～ 12:15	東日本大震災後の沿岸部住民における津波と洪水の危険度認知	○杉村晃一（静岡市），牛山素行（静岡大）	20

12:15 ～ 13:30 ＜昼休み＞

【第2セッション】司会:北村晃寿(静岡大学)

13:30 ～ 13:45	地質記録に基づく安政型地震の平均発生間隔	○北村晃寿・三井雄太・滝川陽紀(静岡大)	24
13:45 ～ 14:00	「クロスロード防災気象情報編」の作成と防災啓発の取り組み	○向井利明（名古屋地方気象台），矢守克也（京都大），牛山素行（静岡大）	26
14:00 ～ 14:15	岐阜県恵那市における土砂災害から犠牲者ゼロを目指したワークショップ ～シーケンス型「逃げ時マップ」の試行～	○岩井慶次（清流の国ぎふ防災・減災センター）ほか	28
14:15 ～ 14:30	岐阜県における防災・減災のための人材育成とネットワーク化	○髙木朗義・小山真紀・能島暢呂（岐阜大学地域減災研究センター）ほか	30
14:30 ～ 14:45	岐阜大学の学生の防災力に関するアンケート調査	○小山真紀・能島暢呂（岐阜大）ほか	32
14:45 ～ 15:00	＜休憩＞		
15:00 ～ 15:15	地域経済分析システムを用いた火山活動に伴う観光業への影響に関する検討	○秦康範(山梨大／静岡大)	34
15:15 ～ 15:30	2003年の豪雨災害の人的被害の原因分析(続報)	○横幕早季・牛山素行（静岡大）	14

・1題あたりの発表時間は，15分(本人発表時間が10分，質疑討論時間が5分)です．
・発表会場には，パソコン(Office2007)，液晶プロジェクターを用意する予定です．各自パソコンを持ち込んでいただいても差し支えありませんが，発表前に接続できることを確認しておいてください．
・著者2名以上の場合，著者名の一部を省略しています．